

# ～ 3年生 ～

科目をクリックするとシラバスが表示されます

国語

[論理国語](#)

地歴公民

[歴史総合](#)

数学

[数学Ⅱ](#)

理科

[地学基礎](#)

保健体育

[体育](#)

外国語

[英語コミュニケーションⅡ](#)  
[論理・表現Ⅰ\(国ビ\)](#)

家庭

[家庭総合](#)

商業

【総合ビジネス科】

[総合実践](#)

[商品開発と流通](#)

[原価計算](#)

[おもてなし名古屋](#)

[ビジネスマネジメント](#)

[ビジネス法規](#)

[ネットワーク活用](#)

【情報処理科】

[総合実践](#)

[ネットワーク活用](#)

[ネットワーク管理](#)

[商品開発と流通](#)

[原価計算](#)

[システムデザイン](#)

【国際ビジネス科】

[総合実践](#)

[商品開発と流通](#)

[ネットワーク活用](#)

[グローバル経済](#)

[ビジネス法規](#)

[課題研究](#)

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2
教科書（出版社）	論理国語（大修館書店）				
副教材（出版社）	論読 現代文2（浜島書店）プライム常用国語（浜島書店）				
授業の概要	近代以降の様々な文章を通して、思考力・判断力・表現力を養い、ものの見方、考え方を順序だてて深めていく力を高める。				
授業の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				

年 間 学 習 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学期	評論 ・「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・ネットワーク上のコミュニケーション ・人を指す言葉-自称詞・対称詞・他称詞-  表現 ・対比して論じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の発想の仕方や論の展開の特徴を捉える</li> <li>・対比的な論じ方や具体例の意図をとらえ、論旨をつかむ</li> <li>・根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る</li> <li>・日本の特徴について考え、言葉に対する理解を深める</li> <li>・対比しながら論じることの効果を理解する</li> <li>・対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く</li> </ul>
	2 学期	評論 ・多数決を疑う ・「である」ことと「する」こと ・言語と他者  表現 ・対立した意見をふまえて書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する</li> <li>・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ</li> <li>・筆者の論の展開のしかたや、表現のしかたに注意して読む</li> <li>・異なる立場の主張について、共通点・相違点をつかむ</li> <li>・多様な意見をふまえて、自分の意見を書く</li> </ul>
	3 学期	評論 ・生物多様性の恩恵 ・日本文化の三つの時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例との関係に注目しながら筆者の主張をとらえる</li> <li>・生物多様性と文化や社会との関係について考えを深める</li> <li>・具体例と分析・考察との関係をとらえる</li> <li>・文化の特徴と時間認識について考える</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げようとしたり、深めようとしたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。
評価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ノート・ワークシート</li> <li>・課題・発表</li> </ul>	学習態度・活動観察 課題・ノート・ワークシート 発表・パフォーマンス課題



教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2
教科書（出版社）	歴史総合（実教出版）				
副教材（出版社）	歴史総合 演習ノート（実教出版）				
授業の概要	近現代の歴史の変化を政治、経済、社会、文化、宗教、生活、地理などの観点から多面的・多角的に考察していく。				
授業の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
年間 学 習 計 画	1 学期	1 歴史の扉 (1) 歴史と私たち  (2) 歴史の特質と資料  2 近代化と私たち (1) 近代化への胎動  (2) 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」  (3) 欧米諸国と日本の国民国家形成  (4) 帝国主義の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義などを考察し、表現する。</li> <li>市民革命や明治維新を基に、国民国家の形成と列強の帝国主義政策によるアジア諸国の変容を理解する。</li> <li>18世紀のアジア諸国の経済、産業革命、アジアの開国、開港、国民国家の形成、列強の帝国主義政策に関する事象について、他の地域どうしを比較したり、関連付けるなどして、その特徴や諸国間の関係性を考察し表現する。</li> </ul>
	2 学期	3 国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 第一次世界大戦と大衆社会  (2) 経済危機と第二次世界大戦  4 グローバル化と私たち (1) 冷戦と脱植民地化	<ul style="list-style-type: none"> <li>WW1前後の社会の変化や、WW2の展開、戦後改革と憲法制定などに着目して、日本と他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けることで、WW1後の社会の変容と社会運動との関連を多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>WW1の展開、日本やアジアの経済成長、ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭などを基に、総力戦とWW1後の国際協調体制を理解する</li> <li>世界恐慌、WW2の展開、戦後改革と憲法制定などを基に、WW2後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</li> </ul>
	3 学期	4 グローバル化と私たち (2) 多極化する世界  (3) グローバル化と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡大と影響に着目し、日本と他の国や地域の動向を比較するなどして、冷戦後の国際制度の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>アジアの経済発展、経済自由化と技術革新の影響、民主化の進展、地域紛争の拡大と変容を基に、冷戦後の国際政治の変容と課題を理解する。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	近現代の歴史の変化に関わる事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義を時期や年代、推移、比較、相互関連や現在とのつながりに着目し、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、それを効果的に説明したり、議論している。	近現代の歴史の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている態度や日本国民としての自覚、わが国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚を深めている。
評価 方 法	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 学期ごとの振り返りシート



教科	数学	科目	数学Ⅱ（3年）	単位数	2
教科書（出版社）	数学Ⅱ 新編（数研出版）				
副教材（出版社）	新課程 3TRIAL 数学Ⅱ（数研出版）				
授業の概要 及び 授業の目標	「数学Ⅰ」や「数学Ⅱ」のこれまでに学習した内容を発展させ、指数関数、対数関数、微分・積分についての基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	4章 指数・対数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>指数を自然数から、整数や有理数に拡張する過程に関心を持ち、指数を具体的な事象に活用できる。</li> <li>指数関数のグラフに関心を持ち、その性質を調べようとする。</li> <li>常用対数を活用して、桁数などを求めることができる。</li> <li>対数を含む方程式・不等式を解くことができる。</li> </ul>
	2学期	5章 微分・積分 1節 微分法 2節 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均変化率、微分係数、導関数の概念を認識できる。</li> <li>微分係数の図形的意味を理解できる。</li> <li>微分係数と導関数の関係を理解し、接線の方程式を求めることができる。</li> <li>導関数を活用して、関数の増加、減少を調べる考え方に興味を持ち、その考え方を活用してグラフの概形を描こうとする。</li> </ul>
	3学期	3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分と定積分の計算をすることができる。</li> <li>定積分を活用して、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。</li> </ul>

学習の評価

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
基準	<p>指数が拡張されていく過程に興味を示す。</p> <p>対数について興味・関心を持ち、これを利用しようとする。</p> <p>極限の概念に関心をもつ。</p> <p>積分の計算を工夫して求めようとする。</p>	<p>指数関数の性質を用いて指数の大小や指数方程式を解くことができる。</p> <p>指数と対数の関係を理解している。</p> <p>微分係数の意味を考えることができる。</p> <p>定積分を、面積を表す量としての見方ができる。</p>	<p>指数法則を用いて計算することができる。</p> <p>いろいろな対数の値を求めることができる。</p> <p>接線の方程式を求めることができる。</p> <p>増減表を利用して関数のグラフがかける。</p> <p>定積分を用いて面積を求めることができる。</p>	<p>指数関数についての用語を正確に理解している。</p> <p>対数関数のグラフから、対数の性質を理解している。</p> <p>導関数の符号と増減の関係を理解している</p> <p>不定積分・定積分について理解している。</p>
備考	<p>数学を学ぶことで数学的なものの考え方を理解し、事象を数学的に考察する力や、表現する能力を養う。日常生活においても論理的に思考する力を養いたい。</p>			



教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2
教科書 (出版社)	高等学校 地学基礎 (第一学習社)				
副教材 (出版社)	新課程版 ネオパルノート 地学基礎 (第一学習社)				
授業の概要	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究していく。				
授業の目標	地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究しようとする態度を養う。				

	学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
年間 学習 計画	1 学期	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 第2節 プレートの運動  第2章 地球の活動 第1節 地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球内部の層構造と、表層部のかたさによる区分、マンデル内の動きについて理解する。</li> <li>世界のプレートの分布を学び、プレートの3つの境界と、それぞれの境界に見られる地形の特徴を学習する。</li> <li>造山帯や大陸地殻の形成といった地殻変動とプレートの運動との関係について学習する。</li> <li>地震の発生と分布の特徴について学習する。</li> <li>地震波の特徴と震源の決定のしかたを理解する。</li> <li>日本付近の地震の分布と種類について学習する。</li> <li>日本付近の地震について、プレートの運動と関連付けて、発生のしくみや特徴を学習する。</li> </ul>
	2 学期	第2章 地球の活動 第2節 火山活動  第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気と海水の運動  第4章 宇宙と地球 第1節 宇宙と太陽の誕生 第2節 太陽系と地球の誕生  第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石 第2節 地球と生物の変遷	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の火山分布と日本の火山分布について学習する。</li> <li>火山が形成されるしくみについて、プレートと関連付けて理解する。</li> <li>火山の形についてマグマの性質と関係づけて考える。</li> <li>地球の大気と海洋の働きを理解する。</li> <li>宇宙の探究の歴史について学習する。</li> <li>宇宙の始まり、銀河系の構造について学習する。</li> <li>太陽の誕生過程と活動、それが地球上に及ぼす影響について学習する。</li> <li>太陽系の構造と誕生過程、地球型惑星と木星型惑星の違いや小天体の特徴を理解する。</li> <li>地球に生命が存在する理由について学習する。</li> <li>化石のでき方、化石からわかることについて学習する。</li> <li>先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球と生物の変遷について学習する。</li> </ul>
	3 学期	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動や地球温暖化、オゾン層の変化など地球の環境について理解する。</li> <li>日本の自然災害とその対策について考える。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象を科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを通して、事象を分析・考察することで科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題</li> <li>授業ノート</li> <li>ワークシート</li> <li>観察</li> </ul>



教科	保健体育	科目	体育	単位数	3
教科書（出版社）	現代高等保健体育（改訂版）（大修館）				
副教材（出版社）	現代高等保健体育ノート（改訂版） ステップアップ高校スポーツ2024				
授業の概要	各学期に種目を選択し実技を行う。授業展開としては集合・整列・挨拶、準備運動、補強運動、主運動、整理運動、集合・整列・挨拶という流れとなる。体育理論も行う。				
授業の目標	主体的に運動に親しみ、仲間と協力して取り組むことにより、基礎体力の向上、協調性、ルールを遵守することの大切さを身に付ける。				

年間 学 習 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団行動</li> <li>○体づくり運動</li> <li>○ラジオ体操</li> <li>○選択種目Ⅰ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技 ・器械運動 ・ダンス</li> </ul> </li> <li>から1種目を選択</li> <li>○体育理論               <ul style="list-style-type: none"> <li>3 単元 豊かなスポーツライフの設計</li> <li>1 生涯スポーツの見方・考え方</li> <li>2 ライフスタイルに応じたスポーツ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早く正確に指示通りに行動することができる。</li> <li>・自分や仲間の体と心の変化に気付くことができる。</li> <li>・各種目特性を理解して、自ら積極的に取り組むことができる。また、意欲的に技術や戦術の向上を目指して運動に親しむことができる。</li> <li>・ルールを理解して、公正な態度で授業に取り組むことができる。</li> <li>・仲間と協力して準備や片付けを行うことができる。</li> <li>・安全に配慮した行動がとれるようになる。</li> </ul>
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択種目Ⅱ・Ⅲ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道 ・ソフトボール</li> <li>・ハンドボール ・サッカー</li> <li>・バレーボール ・バドミントン</li> </ul> </li> <li>から前・後半各1種目の計2種目を選択</li> <li>○体育理論               <ul style="list-style-type: none"> <li>3 日本のスポーツ振興</li> <li>4 スポーツと環境</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目特性を理解して、自ら積極的に取り組むことができる。また、意欲的に技術や戦術の向上を目指して運動に親しむことができる。</li> <li>・ルールを理解して、公正な態度で授業に取り組むことができる。</li> <li>・仲間と協力して準備や片付けを行うことができる。</li> <li>・安全に配慮した行動がとれるようになる。</li> <li>・各ライフステージに体格や体力の変化に応じて、スポーツの行い方や楽しみ方があることを理解する。</li> <li>・日本のスポーツ振興施策について理解する。</li> <li>・スポーツと環境保護の関係性について理解する。</li> </ul>
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択種目Ⅳ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球 ・硬式テニス</li> <li>・バスケットボール</li> </ul> </li> <li>から1種目を選択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目特性を理解して、自ら積極的に取り組むことができる。また、意欲的に技術や戦術の向上を目指して運動に親しむことができる。</li> <li>・ルールを理解して、公正な態度で授業に取り組むことができる。</li> <li>・仲間と協力して準備や片付けを行うことができる。</li> <li>・安全に配慮した行動がとれるようになる。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性や技能の要点を知っている。</li> <li>・ルールを理解し、審判や係の仕事を行うことができる。</li> <li>・運動の特性に応じた技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の要点を意識した練習ができる。</li> <li>・課題解決に向けて練習計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味おうとしている。</li> <li>・練習場や用具などの安全を確かめようとしている。</li> </ul>
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ペーパーテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ペーパーテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ペーパーテスト</li> </ul>



教科	外国語（英語）	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
教科書（出版社）	VISTA English Communication II（三省堂）				
副教材（出版社）	VISTA WORK BOOK（三省堂）、Word-Meister 1700、Training Note③（第一学習社） L+istening Pilot Level1 新訂版（東京書籍）				
授業の概要	題材となる英文を読みながら、その内容を理解するとともに、主な表現に焦点をあてて英語のコミュニケーション場面での表現を学習する。				
授業の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする基礎的な能力を養う。				

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート農業に用いられる先端技術を通じて、未来の農業について考えることができる。</li> <li>現在完了形の受身、助動詞+受け身の用法に慣れる。</li> <li>競技かるたの魅力を知ることを通して、日本文化への理解を深めることができる。</li> <li>関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 <b>what</b> の用法に慣れる。</li> </ul>
		Lesson7	
	2学期	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオロギングの研究を通して、動物や自然環境について考えることができる。</li> <li>分詞構文、強調構文の用法に慣れる。</li> <li>イギリスの作家サキによる物語を読み、ユーモアとウィットを感じ取ることができる。</li> </ul>
Enjoy Reading! 1			
3学期	Enjoy Reading! 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦下のクリスマスの文章を読み、そこで起きた「奇跡」を読み取ることができる。</li> </ul>	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価 方法	活動観察 ワークシート・振り返りシート 定期考査	活動観察 スピーチ・エッセイ 定期考査	活動観察 プレゼンテーション



教科	外国語（英語）	科目	論理・表現 I	単位数	2
教科書（出版社）	VISTA Logic and Expression I (三省堂)				
副教材（出版社）	VISTA Logic and Expression I Workbook (三省堂)				
授業の概要	教科書を通じ、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の3領域を中心とした基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身につけられるよう学習を進める。				
授業の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする基礎的な能力を養う。				

	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	年間学習計画	1学期	Let's Start, Lesson1~4 Activity Station1 Daily Conversation1 キャプションコンテスト
2学期		Lesson5~10 Activity Station2,3 Daily Conversation2,3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分が経験したこと」を紹介するために、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</li> <li>英語で Email を書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを与えられたフォーマットを参考に、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。</li> </ul>
3学期		Lesson11~12	<ul style="list-style-type: none"> <li>「将来になりたい職業」について、自分の考えや気持ち、情報などを、書いた内容を基にして、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	活動観察 ワークシート・振り返りシート 定期考査	活動観察 スピーチ・エッセイ 定期考査	活動観察 プレゼンテーション





教科	家庭科（3年）	科目	家庭総合	単位数	2
教科書（出版社）	家庭総合（実教出版）				
副教材（出版社）	2023 生活学 N a v i 資料+成分表（実教出版） 学習ノート（実教出版）				
授業の概要	一人の生活者として自立していくために知識と技術の習得 （食生活 住生活 保育）				
授業の目標	食生活、住生活、保育などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				

	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
年間学習計画	1学期	第3章 子どもとかわる ①子どもとは ②子どもの発達 ③子どもの生活 ④子供をはぐくむ ⑤子どものための社会福祉 折り紙実習 第6章 食生活をつくる ①食品の選び方と安全 ②私たちの食生活 基本実習 幼児のおやつ 単元：ホームプロジェクト作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心身の発達と特徴、食生活・衣生活や遊びについて学び、理解を深める。</li> <li>食品衛生（食品の選択・食中毒・食品添加物）について学び、安全な食生活の知識を身に付ける。</li> <li>食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を理解し、調理に関する基本的な知識を身に付ける。</li> <li>調理に関する基礎的な技術の習得をする。</li> <li>食事調査をして、各自の食生活の問題点について考え、問題解決をする。</li> </ul>
	2学期	単元：ホームプロジェクト発表 第6章 食生活をつくる ③栄養と食品のかかわり ④食事の計画と調理 ⑤人と食物のかかわり ⑥これからの食生活を考える 基本実習 日常食 （西洋料理・日本料理・中国料理） 実技テスト（飾り切り）	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養素の種類や働きを理解し献立作成につなげられるようにする。</li> <li>食事マナーを知り、楽しく食事をできるようにする。</li> <li>食生活の現状や課題について考える。</li> <li>調理に関する応用的な技術の習得をする。</li> </ul>
	3学期	第8章 住生活をつくる ①人間と住まい ②住まいの文化 ③安全な住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>住生活の基礎的な知識を習得し快適で安全な住まいを考える力を身に付ける。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
規 準	食生活、住生活、保育に関して、生活を健康で安全に営む基礎的な知識を習得し、家庭や社会の一員としての望ましい心構えについて理解することができる。生活に関する課題を解決するための必要な基礎的な技術を身に付け適切に活用することができる。	食生活・住生活・保育の基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を見つけ、課題解決のため思考を深め、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ判断できる能力を身に付けている。課題解決の学習活動で導き出した考えを的確に表現することができる。	食生活、住生活、保育に関心を持ち、家庭や地域への適切な対応を目指して主体的・意欲的に取り組み、実践的な態度を身に付けようとしている。
評価方法	定期考査 学習ノート 実技テスト	定期考査 学習ノート	学習態度 学習ノート 課題の提出状況



教科	商業	科目	総合実践	単位数	3
教科書（出版社）	総合実践 同時同業法を中心として 三訂版（実教出版）				
副教材（出版社）	総合実践 [同時同業法を中心として] 三訂版演習用ノート（実教出版） 高校生からのビジネスマナー（実教出版）				
授業の概要	商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う能力と態度を育成することを目指す。				
授業の目標	(1) ビジネス取引における各種帳票の作成を通して、実践的なビジネスの諸活動について考え技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として根拠に基づいて解決する力を養う。 (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいて必要なスキルを身に付けることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
年間学習計画	1学期	第1編 「総合実践」 1 「総合実践」の学習にあたって 2 応対の心得 3 文書の作成 4 代金の支払い  第2編 基本取引 1 取引開始にあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じた挨拶や会話の基本を学び、コミュニケーションに関する課題を発見し、適切な応対を学習する。</li> <li>・話し方と言葉づかい、敬語の使い方、電話対応における適切なコミュニケーションを理解し、実践できるよう学習する。</li> <li>・事務における文書の重要性および文書作成上の基本を学習する。</li> <li>・小切手・約束手形当について学習する。</li> </ul>
	2学期	第2編基本取引 2 仕入取引 1. 文書および商品の流れ 2. 値段の問い合わせ 3. 商品の発注 4. 商品の受け取り 5. 代金の支払い  3 販売取引 1. 文書および商品の流れ 2. 値段の見積もり 3. 商品の受注 4. 商品の発送 5. 代金の受け取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「取引演習」をとおして、商業経営に必要な業務を合理的に処理するという態度を身に付ける。</li> <li>・帳簿組織、注文の流れや起票方法について学習する。</li> <li>・商品の入出庫の記帳、伝票の集計や転記について学習する。</li> <li>・各種の文書や帳簿などの記入について学習する。</li> <li>・帳簿・帳票の作成を通じて、自ら学び、組織の一員として正確・迅速・丁寧に事務処理を遂行できるよう、他者と協働する力を身に付ける。</li> </ul>
	3学期	4 取引のまとめ（会計処理） 1. 諸経費の支払いなど 2. 伝票の集計と転記 3. 決算業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の作成方法を学習する。</li> <li>・決算の手順を学習し、正確・迅速・丁寧に処理する方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	ビジネスにおいて必要とされるスキルについて実務に即して体系的、系統的に理解するとともに、模擬取引に関する基本的・一般的な知識を習得し、関連する技術と心構えを身に付けている。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。模擬取引に関する諸問題の解決を目指し、創意工夫をしながら適切に判断、表現する能力を身に付けている。	ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいて必要なスキルを身に付けることに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	ペーパーテスト ワークシート （定期考査、小テスト）	ペーパーテスト ワークシート レポート（定期考査、小テスト）	ワークシート レポート 観察



教科	商業	科目	商品開発と流通	単位数	3	
教科書（出版社）	商品開発と流通（実教出版）					
副教材（出版社）	商品開発と流通 準拠問題集（実教出版）					
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
授業の目標	(1) 商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 商品開発と流通に関する議題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）			学習目標	
	1学期	1章	商品開発と流通の概要			<ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解し、商品開発の手順について学習する。流通の仕組みについて、市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について学習する。</li> <li>商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて学習する。プロトタイプを用いて課題を明らかにし、コンピュータを用いて商品デザインを行う。ブランドについて、機能、構成要素等を理解し、知的財産権の重要性を学習する。</li> </ul>
		1	私たちの生活と商品			
		2	商品開発の意義と手順			
		3	商品と流通の関わり			
	2学期	4章	商品の開発			
		1	商品仕様と詳細設計			
		2	プロトタイプ			
		3	商品とデザイン			
4		ブランド				
5		知的財産権の登録				
2章		商品の企画				
1		環境分析と意思決定の準備				
2	市場調査					
3	商品コンセプトの策定					
4	商品企画の提案					
3学期	3章	事業計画の立案			<ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について学習する。価格設定の考え方を理解し、さまざまな価格政策について考察する。流通チャネル、プロモーション計画について事例を関連付けて理解し、事業計画書の作成について学習する。</li> <li>販売員活動における、セールスプロモーションについて学び、実習を行い理解する。</li> <li>顧客ニーズの多様化から、情報システムの変化が流通に及ぼす影響について理解し、感覚を活かしたプロモーション活動を、事例と関連付けて学習する。</li> </ul>	
	1	事業計画の概要				
	2	価格計画				
	3	流通計画				
	4	プロモーション計画				
	5	事業計画書の作成				
	5章	商品の販売				
	1	販売員活動				
	2	セールスプロモーション				
6章	商品の流通に関わる新たな展開					
1	商品開発の新たな展開					
2	流通の新たな展開					
3	感覚を活かした商品開発・流通					
学習の評価						
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。		商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他社と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。	
評価方法	ペーパーテスト ワークシート （定期考査、小テスト） 実習		ペーパーテスト ワークシート （定期考査、小テスト） 実習		ワークシート 実習	



教科	商業	科目	原価計算	単位数	2
教科書 (出版社)	原価計算 (実教出版)				
副教材 (出版社)	反復式 原価計算問題集 全商1級 原価計算 (実教出版) 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算 (実教出版) 日商簿記2級工業簿記が得意になる問題集 (ネットスクール)				
授業の概要	製造業における原価計算及び簿記に関する基礎的・発展的な知識と技術を習得し、原価計算の基礎的・発展的な考え方やその計算方法を正しく理解し、有効に活用する能力を育てる。				
授業の目標	(1) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
年間 学習 計画	学期	学習内容 (単元・項目)		学習目標	
	1 学期	第6編 直接原価計算の基礎 全商簿記1級模擬問題演習 日商簿記2級工業簿記演習 Chapter 1 工業簿記のしくみと勘定連絡 Chapter 2 費目別計算1 (実際価格と実際配賦) Chapter 3 財務諸表の作成		・2年生で学習した原価計算の内容を確認する。 ・個別原価計算の一連の流れを模擬問題で確認する。 ・2年生で学習した材料、労務費、経費の支払高と消費高の計算方法、記帳方法について日商簿記2級工業簿記の内容で確認する。	
	2 学期	Chapter 4 総合原価計算1 (仕損、減損など) Chapter 5 総合原価計算2 (追加材料、組別、等級別計算など) Chapter 6 個別原価計算 Chapter 7 費目別計算2 (予定価格と予定配賦) Chapter 8 部門別計算 Chapter 9 製造間接費配賦差異の分析 (実際原価計算) Chapter 10 標準原価計算 Chapter 11 CVP分析 Chapter 12 直接原価計算 Chapter 13 費目別計算3 (材料副費など)		・総合原価計算の種類や特色、手続きの流れ、原価計算表の作成方法や記帳方法について理解する。 ・個別原価計算の計算方法、記帳方法について理解する。 ・予定と実際の差異に伴う手続きと記帳方法を理解する。 ・部門別個別原価計算の計算方法、記帳方法について理解する。 ・標準原価計算の意味、目的、特色や仕組みなどの手続きを理解する。 ・直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解し、損益分岐点表により売上高、原価、利益の関係を理解する。	
	3 学期	Chapter 14 本社工場会計 Chapter 15 製造業会計 総合記帳演習		・工場に関する取引の記帳を本社から工場に移して工場が独立して取引の記帳管理を行う手続きを理解する。 ・製造業会計の仕組みと記帳方法について理解する。 ・工業簿記一巡の流れについて正しく理解する。	
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。		企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価 方法	ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト)		ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト)		ワークシート



教科	商業	科目	おもてなし名古屋	単位数	2
教科書（出版社）	観光学基礎（JTB総合研究所）				
副教材（出版社）	事例探究ワークブック 観光・地域活性化編（実教出版）				
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域活性化の展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。				
授業の目標	<p>（１）地域活性化について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>（２）地域活性化に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>（３）ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、地域活性化に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）		学習目標	
	1学期	<p>（１）観光とビジネス</p> <p>ア 地域活性化の特徴</p> <p>イ 地域活性化の動向</p> <p>（２）観光資源と観光政策</p> <p>ア 国内の観光資源</p> <p>イ 観光資源の保護と保全</p> <p>ウ 観光政策の動向</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業で行われている地域活性化について学習する。</li> <li>地域活性化に関する具体的な課題を設定し、学習活動を通して、地域活性化に取り組む。</li> <li>観光資源と観光政策について企業などにおける事例と関連付けて学習する。</li> <li>観光資源の活用に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案する。</li> <li>観光資源と観光政策について、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光資源の効果的な活用について考える。</li> </ul>	
	2学期	<p>（３）地域活性化とマーケティング</p> <p>ア 地域活性化の主体</p> <p>イ 地域活性化におけるマーケティングの特徴</p> <p>ウ 顧客の理解</p> <p>エ 顧客サービス</p> <p>（４）地域活性化の展開と効果</p> <p>ア 観光振興とまちづくりとの関係</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化におけるマーケティングについて企業に事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を学習する。</li> <li>地域活性化におけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、地域活性化におけるマーケティング計画を立案する。</li> <li>地域や年代による味覚や嗜好の違い、ライフスタイルによる旅行目的の傾向など地域活性化における顧客の特性について学ぶ。</li> <li>地域活性化におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ学習する。</li> <li>観光による名古屋地域の活性化について企業における事例と関連付けて学習する。</li> </ul>	
	3学期	<p>イ 観光に関する地域の課題</p> <p>ウ 地域の活性化</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光による名古屋地域の活性化に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光による地域の活性化に関する計画を立案する。</li> <li>地域活性化に向けた地域活性化の展開について学ぶ。</li> </ul>	
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地域活性化について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		地域活性化に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に理解している。		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、地域活性化に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	観察・ワークシート		ペーパーテスト(小テスト) 観察・ワークシート		観察・ワークシート



教科	商業	科目	ビジネス・マネジメント	単位数	3
教科書 (出版社)	ビジネス・マネジメント (実教出版)				
副教材 (出版社)	ビジネス・マネジメント 準拠問題集 (実教出版)				
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
授業の目標	(1) ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2) ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

年間学習計画	学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
	1学期	Introduction 1 マネジメントとは何か 2 『ビジネス・マネジメント』とは  1章 ビジネスの創造 1 ビジネスの創造と社会 2 事業創造の基本 3 事業機会の発見 4 戦略と競争優位 5 事業創造の計画と実行 Feature ビジネス・モデル  2章 ビジネスの組織化 1 組織のマネジメント 2 分業と調整 3 組織の設計 4 組織内部のマネジメント 5 取引関係のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいビジネスの創造という活動を軸にして、さまざまな科目と相互に関連する総合的な科目であることを理解する。</li> <li>ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解するとともに、マネジメントの意義と課題について自らの考えをもち、ビジネスの適切な展開と関連付けて学ぶ。また、マネジメントについての意識と意欲を高め、組織の一員として他者と協働する力を身に付ける。</li> <li>組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解し、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。また、自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化について、他者と協働する力を身に付ける。</li> </ul>
2学期	3章 経営資源のマネジメント 1 財務的資源のマネジメント 2 人的資源のマネジメント 3 物的資源のマネジメント 4 情動的資源のマネジメント  4章 ビジネスの変革 1 ビジネスの拡大 2 多角化の動機 3 多角化企業のマネジメント 4 事業の転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解し、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。また、経営資源の適切な管理と効果的な活用について、他者と協働する力を身に付ける。</li> <li>ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解し、計画を立案して実施し、評価・改善をおこなう。また、ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、他者と協働する力を身に付ける。</li> </ul>	
3学期	5章 ビジネスと社会 1 社会における企業 2 企業への支援 3 企業の責任 4 企業への牽制	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解し、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善をおこなう。企業の秩序を維持し、責任を果たすことについて、他者と協働する力を身に付ける。</li> </ul>	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けている。	ビジネスにおけるマネジメントをはじめとした様々な知識などを活用し、ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経営資源のマネジメント、新たなビジネスの創造と展開などに責任をもって取り組もうとしている。
評価方法	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト) 実習	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト) 実習	ワークシート 実習



教科	商業	科目	ビジネス法規	単位数	3
教科書（出版社）	ビジネス法規（実教出版）				
副教材（出版社）	ビジネス法規 問題集（実教出版）、 商業法規便覧 2024（とうほう）				
授業の概要	経済活動や日常の市民生活にかかわる法律を具体的な事例を取り上げ学習する。六法に触れ、法律の知識を深め、物事を法的に思考し判断する力を養う授業を行う。				
授業の目標	①ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会における法の意義や役割について理解する。 ②ビジネス現場で生じる事象を法的に捉え判断し、主体的に行動できる能力と態度を身に付ける。				
年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）		学習目標	
	1学期	<b>第1章 法の概要</b> ビジネスにおける法の役割 法の体系と解釈・適用 <b>第2章 権利・義務と財産権</b> 権利・義務とその主体 物と物件・債権 知的財産権 <b>第3章 財産権の変動</b> 契約 物の売買		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動の円滑な流れは法によって行われていることを学習する。</li> <li>・我々の生活は法律関係で成り立ち、権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解する。</li> </ul>	
	2学期	<b>第3章 財産権の変動</b> 物の貸借 不法行為 時効 <b>第4章 企業活動と法規</b> 企業活動の主体 株式会社の特徴と機関 資金調達と金融取引 組織再編と清算・再建 競争秩序の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産権について学習し、その変動、権利の発生・変更・消滅はほとんど契約によることを理解する。（売買、消費貸借、賃貸借、使用貸借）</li> <li>・契約、相続以外に財産権の権利関係を変動させる時効制度について趣旨や内容を理解する。</li> <li>・商人の概念、商行為の種類を理解する。</li> <li>・公益や消費者利益、一層の公平さ追求のため、営業についていろいろな制限があることを理解する。</li> <li>・株主平等の原則を理解する。</li> </ul>	
	3学期	<b>第5章 企業責任と法規</b> 法令遵守と説明責任 労働者の保護 消費者の保護 情報の保護 <b>第6章 紛争の解決と予防</b> 紛争の解決 紛争の予防 <b>第7章 税と法規</b> 税の種類と法人の納税義務 法人税の申告と納付 消費税の申告と納付		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の社会的責任とコンプライアンスを守ることの大切さを理解する。</li> <li>・市民生活を送る上で欠くことのできない法律知識について、特に我々の生活を守る法律の存在についての意義を理解する。</li> <li>・人の労働の提供に関する民法上の諸規定について理解する。</li> <li>・民法の特別法としての労働三法、関連して就業規則、労働協約について理解する。</li> <li>・紛争の解決方法として和解・調停・仲裁および民事訴訟があることを学習し、それぞれの制度の特色を理解する。</li> </ul>	
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
規準	社会生活における法律の意義や役割を理解し、個々の事例を解釈する知識を身に付けている。自分の知りたい法律を確認する手段を知り、法的な解釈をすることができる。		判例や事象に対して法律を解釈し、問題解決しようとする能力を身に付けている。学習した内容を元に分かりやすく文や言葉で表現できる。		身近に発生する法律行為について関心をもち、その知識習得を目指して授業に意欲的に取り組んでいる。
評価方法	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト)		ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト)		ワークシート レポート



教科	商業	科目	ネットワーク活用	単位数	3
教科書(出版社)	ネットワーク活用(実教出版)				
副教材(出版社)	30時間でマスター Webデザイン 改訂版(実教出版)				
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
授業の目標	(1) ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

年間学習計画	学期	学習内容(単元・項目)	学習目標
	1学期	(1) 情報通信技術の進歩とビジネス ア ICTにより創造される新しいビジネス イ 個人情報と知的財産の保護 ウ 関連法規とガイドライン	・情報通信技術の進歩により実現する、インターネットの活用を中心とした新しいビジネスの実際を学び、情報通信技術が進歩した社会におけるビジネスで、個人の権利や取引の安全をはかるために必要な法規などを学び、ICTの活用に関する基本的な知識と態度を身につけることを目標とする。
(2) 情報コンテンツの制作 ア 図形と静止画 イ 音声と動画		・Webページを作成する際に必要となる図形、静止画、音声、動画などの各種情報コンテンツを取得、作成、編集する基本的な知識と技術を、実習を通して学習する。	
2学期	(3) 企業情報の発信とWebデザイン ア Webページの制作とデザイン イ Webページ制作の基礎 ウ Webページ制作の応用	・Webページを制作するために必要な知識やデザインと配色を学習する。 ・Webサイトを制作するために必要な技術を学習する。	
	(4) インターネットと情報セキュリティ ア インターネットのしくみ イ ハードウェアとソフトウェアの導入 ウ 情報セキュリティの確保	・インターネットのしくみやネットワーク技術、必要となるハードウェアやソフトウェアの導入について理解し、情報セキュリティの確保やその対策の重要性について学習する。	
3学期	(5) 電子商取引とビジネス ア ネットワークを用いたビジネスと電子決済 イ 電子商取引サイトの開店準備 ウ Webページ制作と集客方法 エ ビジネスの創造	・情報システムの開発の手法と手順について学び、企業の業務改善に役立つプログラムを習得し、情報システムの開発を行うことで、電子商取引とビジネスについて学習する。	

学習の評価			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	ペーパーテスト (定期考査、小テスト) パフォーマンス課題	ペーパーテスト (定期考査、小テスト) パフォーマンス課題	小テスト、取組姿勢 パフォーマンス課題





教科	商業	科目	ネットワーク管理	単位数	2
教科書（出版社）	ネットワーク管理（実教出版）				
副教材（出版社）					
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
授業の目標	<p>(1) 情報資産を共有し保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 情報資産を共有し保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>				
年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標		
	1学期	1章 企業活動と情報通信ネットワーク 1節 情報資産の共有の重要性	情報通信ネットワークを活用してビジネスに関する情報やハードウェアなどの情報資産を共有することの重要性を理解する。 企業活動と情報通信ネットワークの関わりにおいて、情報資産を共有し保護する適切な環境を提供する活動について理解する。		
		2節 情報通信ネットワークの形態と通信	情報共有の重要性について、情報通信ネットワークを構築し、情報資産を共有して企業活動を展開している具体的な事例と関連付けて理解する。		
		2章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 1節 情報通信ネットワークの設計方法	情報通信ネットワークに対する要求を分析し、ネットワークの構成、運用計画の策定など、情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解する。		
	2学期	2節 情報通信ネットワークのしくみと通信方法 3節 ネットワーク機器	LANやインターネットの仕組み、LANのアクセス制御の方法や特徴及び代表的な通信プロトコルの概要について理解する。 ネットワークインタフェースの機能、有線LANや無線LANの接続装置、VLAN機能によるネットワークの切り分けを理解する。また、インターネット接続におけるアドレス変換技術（NAT、NAPT）の種類と機能について理解する。		
		4節 情報通信ネットワークの構築方法	情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器を導入するためのハードウェアの選定方法や、情報資産を共有するためのソフトウェアの導入や設定方法について理解する。		
		5節 情報通信ネットワークの運用と障害対策 6節 システム監査	管理ツールやセキュリティポリシーによるネットワーク管理やユーザー管理などの運用管理の技法を習得する。また、サーバのパフォーマンス管理やバックアップの設定方法について理解する。 客観的な立場でシステム監査を行うことの重要性や具体的なシステム監査の実施手順や監査技法について理解する。		
	3学期	3章 情報セキュリティ 1節 情報セキュリティ管理の目的と重要性	情報資産に対する脅威やリスクをしっかりと理解し、情報セキュリティ管理の目的と重要性について理解する。 情報セキュリティに対する各種法規や組織的対応について理解する。		
		2節 人的対策 3節 技術的対策	情報セキュリティ啓発活動の重要性、情報セキュリティに対する意識を向上する方策、内部不正や人的ミスによる情報の漏えいを防止する方策など人的対策及び人的要因により情報セキュリティ上の問題が発生した際の対応策について、具体的な事例と関連付けて分析し、理解する。 アクセス権の設定と管理、ソフトウェアの脆弱性への対策、暗号化や認証などの技法、無線LANに係る情報セキュリティの確保、マルウェアへの感染を予防するソフトウェアを導入し、管理する方法及び技術的対策の実効性を高める方策について理解する。		
		4節 物理的対策	地震、火災、落雷、停電など災害や事故の予防と発生時を想定した対策、機器の故障など物理的障害の予防と情報セキュリティ上の問題の発生を想定した対策、様々な技術を活用した情報を扱う施設における入退室の管理など外部からの侵入の予防と情報セキュリティ上の問題の発生を想定した対策について理解する。		
	総合演習	情報セキュリティ管理に関する知識、技術などを基盤として、企業活動の改善に対する要求などに基づいた情報資産の保護について、具体的事例を取り上げた演習を行う。			

学習の評価

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	情報資産を共有し、保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報資産を共有し、保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し、保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト) 実習	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト) 実習	ワークシート 実習



教科	商業	科目	原価計算	単位数	3
教科書 (出版社)	原価計算 (実教出版)				
副教材 (出版社)	反復式 原価計算問題集 全商1級 原価計算 (実教出版)				
授業の概要	製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得し、原価計算の基本的な考え方やその計算方法を正しく理解し、有効に活用する能力を育てる。				
授業の目標	(1) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
年間 学習 計画	学期	学習内容 (単元・項目)		学習目標	
	1 学期	第1編 原価計算の基礎 第2編 原価の費目別計算 第3編 原価の部門別計算と製品別計算		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のスタートに当たり、原価計算の基礎的な内容を理解する。</li> <li>原価計算の一連の流れを理解する。</li> <li>材料、労務費、経費の支払高と消費高の計算方法、記帳方法について理解する。</li> <li>部門別個別原価計算の計算方法、記帳方法について理解する。</li> <li>総合原価計算の種類や特色、手続きの流れ、原価計算表の作成方法や記帳方法について理解する。</li> </ul>	
	2 学期	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第4編 製品の完成・販売と決算		<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の販売と販売に伴う手続きと記帳方法を理解する。</li> <li>標準原価計算の意味、目的、特色や仕組みなどの手続きを理解する。</li> <li>直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解し、損益分岐点表により売上高、原価、利益の関係を理解する。</li> </ul>	
	3 学期	第4編 製品の完成・販売と決算 第5編 標準原価計算の基礎 第6編 直接原価計算の基礎		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準原価計算の意味、目的、特色や仕組みなどの手続きを理解する。</li> <li>直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解する。</li> </ul>	
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。		企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価 方法	ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト)		ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト)		ワークシート



教科	商業	科目	システムデザイン	単位数	3
教科書（出版社）	なし				
副教材（出版社）	30時間でマスター Excel VBA（実教出版）				
授業の概要	1学期はVBAにおけるクラス・メソッドの考え方を理解し、利用法を習得させる。また、配列についての発展的なアルゴリズムについても学習する。 2学期以降は実習中心でユーザインタフェースの利用について学習し、GUIの考え方を身に付け作品制作を行う。				
授業の目標	①プログラミングに関する知識と技術を習得する。 ②ビジネスの諸活動においてコンピュータを合理的に活用する能力と態度を育てる。				

年間 学習 計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学期	VBAの基礎	「VBAとは何か」から基本的なマクロの作成を理解している。
記録マクロの利用		簡単な名簿（データベース）を題材に、記録マクロとその改善方法を理解している。	
ワークシートを便利にするマクロ		Excelを実務でよく使っている人が最も使用する「VLOOKUP」関数を使った処理を自動化する技術を身に付けている。	
さまざまなコントロール		さまざまなボタンなどをExcelのシート上やフォーム上に貼り付け、マクロを実行したり、値を入力することを理解している。	
2 学期	作品制作	学んだ知識の上に自ら課題を発見し、作品を作ることができる。	
	コントロールを利用したマクロ	関数やシートの扱いなどをコントロールし利用する力を身に付けている。	
	簡単なシステムの作成	音楽ダウンロードサイトの売上管理システムの作成を通して総合的なプログラム方法（手順）を理解している。	
	作品制作	学んだ知識の上に自ら課題を発見し、作品を作ることができる。	
3 学期	新しい関数	「SUBTOTAL」など新しい関数を理解している。	
	データベース関数	「DCOUNT」など新しいデータベース関数を理解している。	
	情報関数	「CELL」など新しい情報関数を理解している。	
	システム開発	ユーザー側が使用する目的で改善を加えながらシステム開発をする力を身に付けている。	
	作品制作	学んだ知識の上に自ら課題を発見し、作品が作れている。	
発表	適切にプレゼンテーションが行えている。		

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	プログラミングに関する基礎的・基本的知識を身に付け、アルゴリズムの意義や役割について理解している。	アルゴリズムについて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	プログラミングについて関心を持ち、コンピュータの合理的な活用について探究しようとしている
評価 方法	ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト)	ワークシート ペーパーテスト (定期考査、小テスト) パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題



教科	商業	科目	グローバル経済	単位数	2
教科書 (出版社)	グローバル経済 (実教出版)				
副教材 (出版社)	グローバル経済 準拠問題集 (実教出版)				
授業の概要	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、グローバル化する経済社会におけるビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
授業の目標	(1) 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
1 学期	第1章 グローバル化が進展する社会 1. 国境を越えて広がる世界 2. グローバル化する社会 3. グローバル化と地域経済統合の動き 4. グローバル化と経済発展 5. グローバル化の諸問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化と国際化の違いについて学習する。</li> <li>・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連を学習する。</li> <li>・地域経済統合の意義を学習する。</li> <li>・グローバル化と経済発展の結びつきについて学習する。</li> <li>・グローバル化による問題点と対応について学習する。</li> </ul>
	第2章 経営のグローバル化 1. 多国籍企業とグローバル経営 2. 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ 3. グローバル経営の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業がグローバル化する理由を学習する。</li> <li>・企業が海外進出する方法や難しさについて学習する。</li> </ul>
2 学期	第3章 経済のグローバル化 1. 人材のグローバル化 2. 財とサービスのグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材 (ヒト) の状況を外国人労働者や賃金も含めて学習する。</li> <li>・財 (モノ) のやり取りに関し、協定や地域経済統合の意義を学習する。</li> <li>・金融 (カネ) の現状と学国為替について学習する。</li> <li>・情報通信技術の発達と個人情報のあり方について学習する。</li> </ul>
	第4章 市場と経済 1. 需要と供給による市場の理論 2. 経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会における市場の役割と課題について学習する。</li> <li>・GDPやマクロ的な視点から経済成長を学習する。</li> </ul>
3 学期	3. 景気循環とインフレーション 4. 経済政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気循環のしくみと弊害について学習する。</li> <li>・経済政策における政府の役割、現状と問題点について学習する。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基準	企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。	経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員としての自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。
評価 方法	ペーパーテスト (小テスト・定期考査) ワークシート レポート 観察 実習	ペーパーテスト (小テスト・定期考査) ワークシート レポート 観察 実習	ワークシート レポート 観察 実習



教科	商業	科目	ビジネス法規	単位数	2
教科書 (出版社)	ビジネス法規 (実教出版)				
副教材 (出版社)	ビジネス法規 問題集 (実教出版)、 商業法規便覧 2024 (とうほう)				
授業の概要	経済活動や日常の市民生活にかかわる法律を具体的な事例を取り上げ学習する。六法に触れ、法律の知識を深め、物事を法的に思考し判断する力を養う授業を行う。				
授業の目標	①ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会における法の意義や役割について理解する。 ②ビジネス現場で生じる事象を法的に捉え判断し、主体的に行動できる能力と態度を身に付ける。				
年間学習計画	学期	学習内容 (単元・項目)		学習目標	
	1学期	第1章 法の概要 ビジネスにおける法の役割 法の体系と解釈・適用 第2章 権利・義務と財産権 権利・義務とその主体 物と物件・債権 知的財産権 第3章 財産権の変動 契約 物の売買		・経済活動の円滑な流れは法によって行われていることを学習する。 ・我々の生活は法律関係で成り立ち、権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解する。	
	2学期	第3章 財産権の変動 物の貸借 不法行為 時効 第4章 企業活動と法規 企業活動の主体 株式会社の特徴と機関 資金調達と金融取引 組織再編と清算・再建 競争秩序の確保		・財産権について学習し、その変動、権利の発生・変更・消滅はほとんど契約によることを理解する。(売買、消費貸借、賃貸借、使用貸借) ・契約、相続以外に財産権の権利関係を変動させる時効制度について趣旨や内容を理解する。 ・商人の概念、商行為の種類を理解する。 ・公益や消費者利益、一層の公平さ追求のため、営業についていろいろな制限があることを理解する。 ・株主平等の原則を理解する。	
	3学期	第5章 企業責任と法規 法令遵守と説明責任 労働者の保護 消費者の保護 情報の保護 第6章 紛争の解決と予防 紛争の解決 紛争の予防 第7章 税と法規 税の種類と法人の納税義務 法人税の申告と納付 消費税の申告と納付		・企業の社会的責任とコンプライアンスを守ることの大切さを理解する。 ・市民生活を送る上で欠くことのできない法律知識について、特に我々の生活を守る法律の存在についての意義を理解する。 ・人の労働の提供に関する民法上の諸規定について理解する。 ・民法の特別法としての労働三法、関連して就業規則、労働協約について理解する。 ・紛争の解決方法として和解・調停・仲裁および民事訴訟があることを学習し、それぞれの制度の特色を理解する。	
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
規準	社会生活における法律の意義や役割を理解し、個々の事例を解釈する知識を身に付けている。自分の知りたい法律を確認する手段を知り、法的な解釈をすることができる。		判例や事象に対して法律を解釈し、問題解決しようとする能力を身に付けている。学習した内容を元に分かりやすく文や言葉で表現できる。		身近に発生する法律行為について関心をもち、その知識習得を目指して授業に意欲的に取り組んでいる。
評価方法	ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト)		ペーパーテスト ワークシート (定期考査、小テスト)		ワークシート レポート



# 課題研究

## 総合ビジネス科

- ・ 論文
- ・ ニューターリズム
- ・ 中川新聞社
- ・ 商品開発
- ・ エリアビジネスプロジェクト
- ・ ビジネススキルアップ
- ・ 上級アカウンティング

## 情報処理科

- ・ パーソナルファイナンス
- ・ プレゼンテーション
- ・ ものづくり研究
- ・ グローバルデザイン
- ・ ファイナンシャルプランナー
- ・ 高度IT研究
- ・ ビジネススタイリング

## 国際ビジネス科

- ・ 中川青和お役立ち隊
- ・ 観光マネジメント
- ・ アクティブアプリケーション
- ・ ビジネスコミュニケーションスキル
- ・ ビジネススタイリング



教科	商業	科目	課題研究（論文）	単位数	3
教科書（出版社）	なし				
副教材（出版社）	なし				
授業の概要	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文章力を向上させる。</li> <li>2. 必要な資料・情報を思考し、的確に判断して問題解決力を高める。</li> <li>3. 内容を明確かつ的確に表現できる力を付ける。</li> <li>4. グループで論文を作成することから、共同作業でのコミュニケーションを図る。</li> </ol>				

年 間 学 習 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解</li> <li>・論文のテーマを思考</li> <li>・テーマ決定とグループ作成</li> <li>・テーマに則った調査</li> <li>・アンケート集計</li> <li>・グラフ作成</li> <li>・論文としてグループでまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミングとKJ法の利用により、自己理解と他者理解をしながら、テーマを絞っていく。</li> <li>・論文作成で客観的な資料を得るためにアンケートを作成し、より見やすい文章や表現を学ぶ。</li> <li>・グループごとにデータ収集をする。インターネットの利用により、情報収集法を身に付ける。</li> <li>・アンケートの集計やグラフ作成でアプリケーションソフトの活用法を身に付け、見やすいグラフの作成を実践する。</li> <li>・グループごとに、テーマに沿って論文を分担して書くことで、討論し意見を収束する方法を学ぶ。</li> <li>・論文の型を学ぶ。</li> </ul>
	2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本のPOP作成</li> <li>・一行手紙の作成</li> <li>・個人論文の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本のPOPを考えることで、内容を理解したことを短い言葉で表現する、制約のある中での表現力を付ける。</li> <li>・一行手紙は、型の中での表現法を学ぶ。</li> <li>・グループ論文から一連の流れで身に付けた力を、個人論文として、今まで身に付けた調査、研究力を表現する。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究発表会準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間学んできたことを、課題研究発表会で発表するために、プレゼンテーションソフトの活用法、また、言葉による表現力を身に付ける。</li> </ul>	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	各自の研究テーマに関する基礎的かつ基本的な知識を持ち、その現状と課題を理解しているか。論文作成に興味・関心を持ち、意欲的に実践する態度を身につけている。	各自で研究テーマ・目標・計画に基づいて必要な資料・情報を思考し、的確に判断して問題解決への決定をすることができる。	各自の研究テーマに基づいた実践の中で、テーマに沿った内容を明確かつ的確に表現し、活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価 方法	日誌 作品 観察	日誌 作品 観察	日誌 作品 観察



教科	商業	科目	課題研究（ニューツーリズム）	単位数	3
教科書（出版社）					
副教材（出版社）					
授業の概要	授業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	観光業と地域について学び、アイデアを考え、自分の意見を発表することができる。				

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光業について</li> <li>観光を深く学ぶための活動について</li> <li>観光パンフレットの作成1</li> <li>JTBへの見学について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に観光業について学び、調査し、まとめ、発表することができる。</li> <li>観光を深く学ぶための活動を自ら考え、提案することができる。</li> <li>観光パンフレットの作成を行う。</li> <li>ソフトウェアを活用できる。</li> <li>目を引くデザインやキャッチコピーを考えようとするすることができる。</li> <li>JTBへの見学で何をみたいか、知りたいかを考えることができる。</li> <li>旅行代理店の仕事を学び、調査し、まとめ、発表することができる。</li> </ul>
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>JTBの見学後のまとめ</li> <li>3年生の遠足のパンフレット作成について</li> <li>振り返り</li> <li>課題研究発表会準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JTBで見たこと、知ったことをまとめ、発表することができる。</li> <li>3年生の遠足のパンフレット作成について、依頼先の要望を聞くことができる。</li> <li>作成したパンフレットについて、3年生を対象にアンケートを行う。</li> <li>アンケートをもとに振り返り、改善点を見つけることができる。</li> <li>意欲的に課題研究発表会の準備ができる。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間のまとめ</li> <li>課題研究発表会準備</li> <li>課題研究発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動について振り返り、問題点、改善点を考える。</li> <li>意欲的に課題研究発表会の準備ができる。</li> <li>研究成果を発表会でわかりやすく表現できる。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	観光業について学び、地域の観光についてアイデアを考えるうえで、調べ方や、まとめ方、発表の仕方についての知識を理解し、レポートとしてまとめることができ、講座内で自分の考えを発表することができる。	地域の観光について、アイデアを考え、プレゼンテーションの知識を活用し工夫して発表することができる。また、他生徒の考えを聞き、自分のアイデアを改善することができる。	地域の観光について、主体的に調べ、考え、自分の意見を積極的に発信することができる態度を身に付けている。
評価方法	課題研究ノート レポート 観察 発表	課題研究ノート レポート 観察 発表	課題研究ノート レポート 観察 発表





教科	商業	科目	課題研究(中川新聞社)	単位数	3
教科書(出版社)	なし				
副教材(出版社)	なし				
授業の概要	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	広報活動の重要性や作成するための知識や技術を学び、様々な取材をとおして、年複数回の新聞発行を目指す。				

年間 学習 計画	学期	学習内容(単元・項目)	学習目標
	1 学期	I 新聞記事について 1 記事の書き方を知る 2 新聞記事を読み解く 3 見出しの意味を知る II 新聞記事の企画検討 1 新聞の必要性を知る 2 第1号取材対象の決定 3 取材 4 記事を書く 5 編集する 6 記事の完成 7 第1号発行しての反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞が果たす役割について理解し、その必要性をまとめ、発表する。</li> <li>担当する役割について理解し、計画的に取り組む。</li> <li>自分自身で新聞を作ることで、新聞づくりの重要性について理解する。</li> </ul>
	2 学期	III 新聞記事の企画検討 1 第2号取材対象の決定 2 取材 3 記事を書く 4 編集する 5 記事の完成 6 第2号発行しての反省 IV 新聞記事の企画検討 1 取材 2 記事を書く 3 編集する 4 第3号発行しての反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞をとおして、本校の取組を広める活動について主体的に進める。</li> <li>新聞の果たす役割を理解し、しっかりと伝える。</li> <li>今回の反省を次号の作成に活かす。</li> <li>取材対象を定め、主体的に取材し、それをまとめる。</li> <li>文書作成上の基本を理解する。</li> <li>実施後の様々な活動についても意欲的に取り組む。</li> <li>まとめと発表に向けて、プレゼンテーションソフトの操作に主体的に取り組む。</li> </ul>
	3 学期	V まとめ 1 課題研究発表会に向けて 2 発表に向けた準備 3 次年度への課題整理 VI 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期と2学期まで学習してきた新聞作成に関する知識や技能と望ましい心構えを身に付け、新聞の意義や役割を理解し、確認をしながらまとめる。</li> <li>課題研究発表において、これまでまとめてきた内容について、適切に表現する。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	新聞記事作成に関する知識や技能と望ましい心構えを身に付け、新聞の果たす意義やそれに携わる自分たちの役割を理解し、新聞作成に関わる諸活動を適切に実践することができる。	新聞記事作成に関する諸問題を的確に把握し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、それを表現する能力を身に付けている。	新聞記事作成に関わる諸活動に広く関心をもち、その知識と技術の修得を目指して意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身に付ける。
評価 方法	課題研究ノート 作品 観察 発表	課題研究ノート 作品 観察 発表	課題研究ノート 作品 観察 発表



教科	商業	科目	課題研究（商品開発）	単位数	3
教科書（出版社）	なし				
副教材（出版社）	なし				
授業の概要	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	1. 商品開発を行う過程を知る。 2. 現代社会の課題に対し、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける。 3. 自己のアイデアをまとめ、プレゼンテーションの技術を身に付ける。				

年間 学習 計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・社会問題提議</li> <li>・商品が開発されるまでの過程</li> </ul>	<p>新商品を開発するための手順と協力企業や既存商品について理解する。</p> <p>根拠のあるデータを収集し、分析と実態調査を行い、社会問題や社会的に解決すべき課題を発見し、自分の考えをまとめ表現する。</p> <p>商品が生産されてから販売されるまでの流通経路を自ら学び、開発商品のSTPを主体的かつ協働的に考える。</p>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発</li> <li>・商品パッケージ</li> <li>・広告</li> </ul>	<p>STPを踏まえて、商品コンセプトを考える重要性に気づき、自他の意見をまとめてグループで協力して発表する。</p> <p>コンセプトやターゲット、内容量に適した商品の色やサイズ、パッケージの形状について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p> <p>販売場所に応じた適切な広告内容と媒体を考えて、情報を発信する。</p>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売実習</li> <li>・課題研究発表会</li> </ul>	<p>開発商品を消費者に購入してもらうための言行動を考え、実践的な活動を通して接客態度を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> <p>発表会において準備してきたことについて、適切に考えを表現している。</p>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	
評価 規準	商品開発を行う過程やプレゼンテーションの方法についての知識を身に付け、活用する技術を身に付けている。	消費者ニーズや社会課題を発見し、それに対する自己のアイデアをまとめたり、開発可能な商品を考えたりと創造的に解決する力を身に付けている。	現代社会の課題を自らの学びから発見し、課題解決のために必要な商品を開発しようと主体的かつ協働的に取り組む姿勢が身に付いている。
評価 方法	日誌 作品 観察	日誌 作品 観察	日誌 作品 観察



教科	商業	科目	課題研究 (エリアビジネスプロジェクト)	単位数	3
教科書 (出版社)					
副教材 (出版社)					
授業の概要	授業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	地域について理解するとともに、地域に役立つ活動を主体的に考え、実践する。野崎白菜などについて学び、校外授業などを行う。				

年間学習計画	学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色について</li> <li>・はくちゃんを広めるアイデアの考案</li> <li>・野崎白菜、なごやちりめん葉ボタンを広める活動のアイデア考案</li> <li>・紙芝居についての指導</li> <li>・はくちゃん、野崎白菜ちりめん葉ボタンを地域に広めるための活動の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域について学ぶ。</li> <li>・ポスターなど広告の作成。</li> <li>・野崎白菜発祥からの歴史を学ぶ。</li> <li>・紙芝居の内容を知る。</li> <li>・地域に広めるための活動について、主体的に考えられる。</li> </ul>
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はくちゃん、野崎白菜ちりめん葉ボタンを地域に広めるための活動の準備</li> <li>・幼稚園、地域イベントでの活動準備、実施、振り返り</li> <li>・課題研究発表会準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に広めるための活動について、主体的に考えられる。</li> <li>・はくちゃんの着ぐるみを活用し、意欲的に活動する。</li> <li>・紙芝居について実演できる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトの活用方法。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究発表会準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間学んできたことを、課題研究発表会で発表するために、プレゼンテーションソフトの活用方法、また、言葉による表現力を身に付ける。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	地域の特色についてアイデアを考えるうえで、調べ方や、まとめ方、発表の仕方についての知識を理解し、レポートとしてまとめることができ、講座内で自分の考えを発表することができる。	地域に役立つ活動について、アイデアを考え、プレゼンテーションの知識を活用し工夫して発表することができる。また、他生徒の考えを聞き、自分のアイデアを改善することができる。	地域に役立つ活動について、主体的に調べ、考え、自分の意見を積極的に発信することができる態度を身に付けている。
評価方法	課題研究ノート レポート 観察 発表	課題研究ノート レポート 観察 発表	課題研究ノート レポート 観察 発表



教科	商業	科目	課題研究 (ビジネススキルアップ)	単位数	3
----	----	----	-------------------	-----	---

教科書 (出版社)	
副教材 (出版社)	
授業の概要	会社経営や商品開発を模擬体験する。会社ごとに市場調査を行い、売場構成を考え、実際の店舗の売上向上を目指す。
授業の目標	実践的なマーケティング戦略をとおして、課題分析や問題解決能力を身に付ける。他校生徒や企業の方との関わりの中でコミュニケーション能力を向上する。

年間 学 習 計 画	学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
	1 学 期	マーケティング基礎① 会社の組織構成について 会社経営、店舗経営について 小売業について マーケティング基礎② 市場調査、4P政策について 商品開発から売場構成について マーケティング戦略の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の存在意義や会社内の組織について理解する。</li> <li>小売業のサステナビリティについて理解し、新しい消費の価値を考える力を身に付ける。</li> <li>商品開発から販売までに必要なマーケティング技術を習得する。</li> <li>マーケティング戦略を仲間と考え、自分の考えを発表できる力を身に付ける。</li> </ul>
	2 学 期	売場構成会議とプレゼンテーション  マーケティング演習 販売準備 商品陳列と売場展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>売場構成に必要な知識を学習し、販売する商品に合った売り場を考え、提案する。</li> <li>時代に沿ったマーケティングについて理解する。</li> <li>お客様の興味を引く陳列方法と売場を作る。</li> </ul>
	3 学 期	販売実習  振り返り  課題研究発表  振り返り報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売実習を行い、店舗実習結果から良かった点と改善点を考え、報告する。</li> </ul>

学習の評価			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	課題解決のための継続的な学習をとおして、専門的な知識の進化を図り、調査や研究に活用しようとしている。また、あらゆる手法を用いて物事を分析・改善しようとしている。	課題解決のための継続的な学習をとおして、専門的な技術の進化を図り、プレゼンテーションに活用しようとしている。	課題を自ら発見し、解決する能力や自発的・創造的な学習に取り組むなど、主体的な学習態度を養おうとしている。
評価 方法	ワークシート パフォーマンス課題 観察 課題用紙	ワークシート パフォーマンス課題 観察 課題用紙	ワークシート パフォーマンス課題 観察 課題用紙



教科	商業	科目	課題研究(上級アカウントing)	単位数	3
教科書(出版社)	なし				
副教材(出版社)	なし				
授業の概要	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	1、2年生で学習してきた簿記会計に関する、上級資格にチャレンジする。				

年間学習計画	学期	学習内容(単元・項目)	学習目標
	1学期	I オリエンテーション ・年間計画の作成 ・目標設定 II 全商簿記実務検定の学習 III 日商簿記検定の学習	・研究テーマに沿って、各自で適切な目標を設定する。 ・6、7月の検定に向けて、傾向と対策を考え、基本的な部分を理解する。
	2学期	IV 全商財務諸表分析検定の学習 全商財務会計検定の学習 全商管理会計検定の学習 V 日商簿記検定の学習 VI 全商簿記実務検定の学習	・1学期に受験した検定試験を振り返り、次の学習へと活かす。 ・目標とする検定試験の合格を目指して意欲的に取り組む。
	3学期	・1年間のまとめ ・課題研究発表会	・1年間の研究成果を分かりやすく発表用にまとめる。 ・日商簿記試験や全商簿記実務検定等の概要や合格するためのポイント、学習方法等をパワーポイントを利用し、分かりやすく表現する。

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	各自の目標に基づいた実践の中で、簿記会計の知識を体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けようとしている。	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、各自の目標・計画に基づいて専門的技術を深めようとしている。	企業会計に広く関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	日誌 レポート 観察	日誌 レポート 観察	日誌 レポート 観察



教科	商業	科目	課題研究 (パーソナルファイナンス)	単位数	3
教科書 (出版社)					
副教材 (出版社)		本当の自由を手に入れる お金の大学 (朝日新聞出版) 株式学習ゲームガイドブック (日本証券業協会、東京証券取引所)			
授業の概要		商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
授業の目標		これまで学習してきた金融についての知識を基礎としてお金に関して得た知識を、生活の中で役立てることができるようにする。			
年間学習計画	学期	学習内容 (単元・項目)		学習目標	
	1学期	I オリエンテーション ・年間計画の作成 ・目標設定 II お金の五大要素の学習① III 株式学習ゲームの準備と運用①		・研究テーマに沿って、各自で適切な目標を設定しよう。 ・お金の貯める、稼ぐ、増やす、守る、使う力について理解していく。 ・株式学習ゲームに参加することによって株式投資の学習を進めていく。	
	2学期	IV お金の五大要素の学習② V 株式学習ゲームの運用②と検証		・お金の五大要素の知識をみんなで発表して共有する。 ・株式学習ゲームをとおして、企業の活動を理解できるようにする。	
	3学期	VI 1年間のまとめ VII 課題研究発表会		・1年間の研究成果を発表用にわかりやすくまとめる。 ・お金に関する学習内容や資産運用についての内容をパワーポイントなどを利用し、わかりやすく表現する。	
学習の評価					
観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	お金に関する知識を身に付け、実務に即して体系的・系統的に理解しようとしている。	お金に関して、思考を深め、資料・情報をもとに思考し、自ら判断して問題解決できる力を身に付けようとしている。		お金について関心をもち、その知識と技術の習得を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。	
評価方法	日誌 レポート 観察	日誌 レポート 観察		日誌 レポート 観察	



教科	商業	科目	課題研究 (プレゼンテーション研究)	単位数	3
教科書 (出版社)	なし				
副教材 (出版社)	なし				
授業の概要	プレゼンテーションに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして専門的な知識と技術の総合化を図る。問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
授業の目標	プレゼンテーションの重要性や資料を作成するための知識や技術を学び、様々な取材をとおして、生徒商業研究発表大会や中学生体験入学での発表を目指す。				

	学期	学習内容 (単元・項目)	学習目標
年間 学 習 計 画	1 学 期	I プレゼンテーションとは何か 1 プレゼンテーションとは 2 与えられた条件とは何か 3 プレゼンテーションの種類 II 視覚資料の準備と実際 1 視覚化のポイント 2 フレーズ化 3 図解化 4 プレゼンテーションの流れ 5 プレゼンテーションの運営 6 リハーサルによる確認 7 聞き手の態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションとは何か、基本の理解をベースとして、ストーリーづくりのステップを学習する。</li> <li>・プレゼンテーション全体の流れを踏まえて、基本的なステップに従って理解を深める。</li> </ul>
	2 学 期	III PowerPoint の作成 1 PowerPoint の画面構成 2 PowerPoint の基本操作 3 テンプレートを使った新規作成 4 編集操作の基本 5 オブジェクトの操作 6 配付資料を印刷 IV プレゼンテーションのテクニック 1 配色の設定 2 テキストの書式設定 3 Excel グラフを挿入 4 全てのスライドへの一括処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPoint を利用する上で必要な用語など、基本的な操作方法を習得する。</li> <li>・簡単なプレゼンテーション資料の作成から、本格的なプレゼンテーション資料の作成を行い、保存や印刷などの機能も学習する。</li> <li>・PowerPoint の資料をよりきれいに、より印象深くするために、完成度を高める機能を学習する。</li> <li>・実際のプレゼンテーションの前のリハーサルや本番でのテクニックにも触れる。</li> </ul>
	3 学 期	V まとめ 1 課題研究発表会に向けて 2 発表に向けた準備 3 次年度への課題整理 VI 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期まで学習してきた内容に関する知識や技術と望ましい心構えを身に付け、新聞の意義や役割を理解し、確認をしながらまとめる。</li> <li>・課題研究発表において、これまでまとめてきた内容について、適切に表現する。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規 準	プレゼンテーションに興味・関心を持ち、意欲的に実践する態度を身に付けている。	各自で研究テーマ・目標・計画に基づいて必要な資料・情報を思考し、的確に判断して問題解決への決定をすることができる。	自ら研究テーマに関心を持って主体的かつ意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身に付ける。
評価 方 法	課題研究ノート 作品制作・発表 観察	課題研究ノート 作品制作・発表 観察	課題研究ノート 作品制作・発表 観察

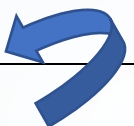


教科	商業	科目	課題研究(ものづくり研究)	単位数	3
教科書(出版社)	なし				
副教材(出版社)	なし				
授業の概要	プロダクトデザインについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				
授業の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、プロダクトデザインに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

年間学習計画	学期	学習内容(単元・項目)	学習目標
	1学期	1 オリエンテーション ア アイディアの出し方 イ 先行商品について学ぶ ウ 先人について学ぶ エ プロダクトデザインの概要 2 デザインと創造活動 ア 造形活動とデザイン イ 形態と構成の原理 ウ 平面構成と立体構成 3 デザインと色彩の関係 ア 色の効果 イ 発色の化学 ウ 色の相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいコンテンツを出すための工夫について理解している。</li> <li>水平思考を使ってアイデアを出すことができる。</li> <li>デザインを構成する基本要素について理解しているとともに、アイデアの発想法を用いて、主体的に課題に取り組むことができる。</li> </ul>
2学期	4 デザインと人間工学 ア アフォーダンス イ 感覚と感性 ウ 人間要素 エ 香りの効果 5 ビジュアルデザイン ア ビジュアルデザインの概要 イ グラフィックデザイン ウ パッケージデザイン 6 インダストリアルデザイン ア 自動車のデザイン イ 家電製品のデザイン ウ 医療機器のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロダクトデザインと人間工学の関わりについて理解している。</li> <li>社会や生活における諸課題を発見し、それをデザインにより解決できないか模索している。</li> <li>工業デザインに求められる要素や、その作成方法について理解している。</li> </ul>	
3学期	7 繊維・服飾デザイン ア 繊維の科学 イ アパレル産業の構造 ウ 尾州織物の歴史 8 課題研究発表会 ア 課題研究発表会準備 イ 発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>繊維製品の作り方の原理を理解し、創作活動を行うことができる。</li> <li>発表会において準備してきたことについて、適切に考えを表現している。</li> </ul>	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	プロダクトデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。デザインに関する技術を身に付け、活用することができる。	プロダクトデザインに関する諸活動への適切な対応を目指して、思考を深めている。アイデア表現する創造的な能力を身に付けている。	プロダクトデザインについて関心を持ち、消費者の視点に立った商品の企画・開発に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	日誌 レポート 作品	日誌 レポート 作品	日誌 レポート 発表





教科	商業	科目	課題研究 (グローバルデザイン)	単位数	3
教科書 (出版社)	なし				
副教材 (出版社)	なし				
授業の概要	中川区、港区の課題を把握しながら、生徒がアイデアを出し合い改善策の立案と実行を行う。				
授業の目標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
年間学習計画	学期	学習内容 (単元・項目)		学習目標	
	1学期	I グローバルデザインの年間日程について		・地域開発の目的や意義を理解し、地域に関心と意欲をもつ。	
		II 中川運河に関わる企業、自治体とのディスカッション		・中川運河の現状を理解し、地域開発の必要性を理解する。	
		III 提案の作成		・改善計画を考えることができる。	
2学期	IV 提案の発表		・多様な意見に耳を傾けながら自分の意見を伝えることができる。		
	V 地域活性化活動		・提案した計画について、適切に実施することができる。 ・実施した事柄について、振り返りと改善案を作成、提案することができる。 ・実施した短期計画の反省を元に、現実的な改善案をまとめ、企業連合体に提案することができる。		
3学期	VI 課題研究発表会の準備		・役割分担をし、1年間の活動の集大成としてプレゼン作品を制作し、発表会の準備ができている。		
	VII 課題研究発表会		・課題研究発表において、これまでまとめてきた内容について、適切に表現する。 ・分かりやすいプレゼン作品ができている。		
学習の評価					
観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地域に関する知識と望ましい心構えを身につけ、地域開発において、コンセプトを持って各工程に取り組み、依頼者が望むアイデアと表現技法を身に付けている。		地域開発に関わる、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、それを表現する能力を身に付けている。		本校の取り組む諸活動に広く関心を持ち、これまで学んだ知識と技術の集大成として意欲的に取り組むとともに、本校の生徒として望ましい心構えや態度を身に付ける。
評価方法	課題研究ノート 作品制作・発表 観察		課題研究ノート 作品制作・発表 観察		課題研究ノート 作品制作・発表 観察



教科	商業	科目	課題研究(ファイナンシャル・プランナー)	単位数	3
----	----	----	----------------------	-----	---

教科書(出版社)	
----------	--

副教材(出版社)	
----------	--

授業の概要	
-------	--

授業の目標	これまで学習してきた金融などについての知識を基礎として、ファイナンシャル・プランニングができるように知識を深める。
-------	---

年間学習計画	学期	学習内容(単元・項目)	学習目標
	1学期	I オリエンテーション ・年間計画の作成 ・目標設定 II ファイナンシャル・プランナーについて III ライフプランニングと資金計画 IV リスク管理 V 金融資産運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究テーマに沿って、各自で適切な目標を設定する。</li> <li>ファイナンシャル・プランナーの資格・仕事・役割について理解する。</li> <li>ライフプランニングと資金計画、リスク管理、金融資産運用に関する知識を深め、関連する技術を身に付ける。</li> </ul>
2学期	VI タックスプランニング VII 不動産 VIII 相続・事業承継 IX 実技試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>タックスプランニング、不動産、相続・事業承継に関する知識を深め、関連する技術を身に付ける。</li> <li>個人資産相談業務、保険顧客資産相談業務、資産設計提案業務に関する知識を深め、関連する技術を身に付ける。</li> </ul>	
3学期	X 3級FP技能検定問題 XI 課題研究発表会の準備 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の研究成果を発表用に分かりやすくまとめる。</li> <li>金融に関する学習内容や資産運用についての内容をパワーポイントなどを利用し、分かりやすく表現する。</li> </ul>	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	ファイナンシャル・プランニングに関する知識を身に付け、実務に即して体系的・系統的に理解しようとしている。	ファイナンシャル・プランニングに関して、思考を深め、資料・情報をもとに思考し、自ら判断して問題解決できる力を身に付けようとしている。	ファイナンシャル・プランニングについて関心をもち、その知識と技術の習得を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	日誌 レポート 観察	日誌 レポート 観察	日誌 レポート 観察



教科	商業	科目	課題研究（高度 IT 研究）	単位数	3
教科書（出版社）					
副教材（出版社）					
授業の概要		商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
授業の目標		1、2年生で学習してきた情報処理に関連する、上級資格および国家資格にチャレンジする。			

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学期	I オリエンテーション ・年間計画の作成 ・目標設定	・研究テーマに沿って、各自で適切な目標を設定する。
		II 学習計画の作成、目標資格の学習	・各自の計画に従って、傾向と対策を考え、基本的な部分を理解する。
	2 学期	III 新たな学習計画の作成、目標資格の学習	・1学期に学習した、または、受験した試験を振り返り、次の学習へと活す。 ・目標とする資格試験の合格を目指して意欲的に取り組む。
3 学期	IV 1年間のまとめ V 課題研究発表会	・1年間の研究成果を分かりやすく発表用にまとめる。 ・情報処理技術者試験の概要や合格するためのポイント、学習方法等をパワーポイントを利用し、分かりやすく表現する。	

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	情報処理技術者の基礎的・基本的な考え方、情報処理技術者として情報処理活用の知識や技術を身に付け、情報処理技術者の役割を理解するとともに、的確に表現している。	情報処理に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、各自の目標・計画に基づいて必要な資料・情報を思考し、的確に判断して問題解決への決定をすることができる。	情報処理に関して広く関心を持ち、これまでに学んだ知識と技術に基づき、さらに上級資格の合格を目指して、意欲的に取り組むことができる。
評価 方法	課題研究ノート 問題集の問題解答確認 確認テスト 発表用プレゼン作成 観察	課題研究ノート 問題集の問題解答確認 確認テスト 発表用プレゼン作成 観察	課題研究ノート 問題集の問題解答確認 確認テスト 発表用プレゼン作成 観察



教科	商業	科目	課題研究（ビジネススタイリング）	単位数	3
教科書（出版社）					
副教材（出版社）	秘書検定クイックマスター3級2024年度版（早稲田教育出版）				
授業の概要	ビジネスに関する課題を発見し、協働作業や外部講師の講演を通して、職業人として必要な資質・能力の向上を目指す。				
授業の目標	<p>（1）ビジネスに関する知識や技能と望ましい心構えを身につけ、ビジネスマナーの意義や役割を理解している。</p> <p>（2）ビジネスに関する諸問題を的確に把握し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。</p> <p>（3）ビジネスを行う上での諸活動に広く関心を持ち、その知識と技術の修得を目指して意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身につけている。</p>				

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	I 必要となる資質 1 予定表の作成 2 職業人としての心構え 3 必要な資質 4 話し方・聞き方・言葉遣い 5 身だしなみ II マナー・接遇 1 立ち居振る舞い 2 ビジネス文書：お礼状 3 ビジネスメイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と職業人の違いを理解している。</li> <li>・ビジネスを営む上で求められる望ましい人柄・行動を身につけている。</li> <li>・敬語や接尾語の使い方を適切に判断し、表現する能力を身につけている。</li> <li>・ビジネスに相応しい身だしなみや立ち居振る舞いを理解し、実行できる。</li> <li>・ビジネス文書作成上の基本を理解している。</li> <li>・目的にあったメイクを理解し、実践できる。</li> </ul>
	2学期	III 秘書検定 1 職務知識 2 一般知識 3 過去問題 IV 研究発表準備 1 研究発表の下準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秘書の役割と機能を理解している。</li> <li>・秘書の仕事を理解し、適切に実践することができる。</li> <li>・経営学、経営管理について理解している。</li> <li>・社会常識や時事問題について理解している。</li> <li>・目標を立て実行できている。</li> <li>・自ら学び、問題解決することができる。</li> </ul>
	3学期	2 研究発表の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を把握し、任されたことに責任を持ちやり遂げている。</li> <li>・これまで学習した知識や技能と望ましい心構えを身につけている。</li> <li>・協働し、まとめていくことができる。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	ビジネスに関する知識や技能と望ましい心構えを身につけ、ビジネスマナーの意義や役割を理解している。	ビジネスに関する諸問題を的確に把握し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。	ビジネスを行う上での諸活動に広く関心を持ち、その知識と技術の修得を目指して意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身につけている。
評価方法	・ワークシート	・レポート	・レポート ・発表



教科	商業	科目	課題研究「中川青とお役立ち隊」	単位数	3
----	----	----	-----------------	-----	---

教科書（出版社）	なし
----------	----

副教材（出版社）	なし
----------	----

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や学校について考察し、課題や問題点などを抽出し、具体的に改善を目指し行動します。</li> </ul>
-------	---

授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や学校についての課題を主体的に見つけ出し、妥当性のある計画案を考える力を身に付けます。</li> <li>・計画案について、主体的に行動する力を身に付けます。</li> <li>・自分の考えを表現し、互いに意思を通い合わせることでできる力や態度を育てます。</li> </ul>
-------	---

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにおける課題解決事例についての研究</li> <li>・学校生活や学校における課題の抽出と改善案の考察</li> <li>・計画した内容について、実際に改善のための行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的にビジネスにおける課題解決事例を調査し、講座内でわかりやすく発表します。</li> <li>・学校生活や学校における課題を見つけ出し、それを解決するための方策を講座内で意見を出し合いながら、計画書の作成をします。</li> <li>・計画した内容について、関係する先生にプレゼンを行い、実現可能な計画へ変更します。</li> <li>・改善した計画について主体的に行動します。</li> </ul>
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期の続きで、他に3つ程度の計画について行動</li> <li>・活動の振り返りとまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した内容について、関係する先生にプレゼンを行い、実現可能な計画へ変更します。</li> <li>・改善した計画について主体的に行動します。</li> <li>・計画した内容を可能な限り、実行に移す。</li> <li>・12月には、これまで行ってきた活動を振り返り、まとめのレポートを作成します。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究発表会に向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの1年間の研究を通して、提案できることをまとめます。</li> <li>・課題研究発表会で発表する技術についても学習します。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・スライド</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・グループ学習</li> <li>・課題研究日誌</li> </ul>



教科	商業	科目	課題研究（観光マネジメント）	単位数	3
教科書（出版社）					
副教材（出版社）	観光学基礎（JTB総合研究所）				
授業の概要	地元である中川区や名古屋市の観光に関する取組やその課題について学習し、課題に対する改善案や活性化に向けた新たな提案を行います。				
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域について関心を持ち、観光の視点で現状を把握したうえで、課題解決に無得た探究する力を育てます。</li> <li>・自分の考えを表現し、互いに意思を沟通交流する能力や態度を育てます。</li> <li>・学習した内容を地域連携を通して、地域活性化に役立てます。</li> </ul>				

年間 学習 計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川区の観光資源についての研究</li> <li>・中川区の観光についての研究</li> <li>・中川区の観光についての課題把握</li> <li>・上記課題について改善案の提案、計画の立案、実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中川区の観光資源にはどのようなものがあるのか研究します。</li> <li>・外部講演をとおして、中川区の観光に関する現状と課題について研究します。</li> <li>・課題に対して改善できることについて考え、計画を立てて実行します。</li> </ul>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市の観光資源についての研究</li> <li>・名古屋市の観光についての研究</li> <li>・名古屋市の観光についての課題把握</li> <li>・上記課題について改善案の提案、計画の立案、実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市の観光資源にはどのようなものがあるのか研究します。</li> <li>・外部講演をとおして、名古屋市の観光に関する現状と課題について研究します。</li> <li>・課題に対して改善できることを考え、計画を立てて実行します。</li> </ul>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の振り返り</li> <li>・課題研究発表会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの1年間の研究をとおして、提案できることをまとめます。</li> <li>・課題研究発表会で発表する技術についても学習します。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	<p>観光に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。</p> <p>また、地域の観光に関する課題の改善や提案するための基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</p>	<p>地域の観光に対する課題の改善を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</p>	<p>地域の観光について関心を持ち、課題の改善に向け主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。</p>
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・ペーパーテスト（小テスト）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・プレゼンテーション資料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究日誌</li> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・観察</li> </ul>



教科	商業	科目	課題研究「アクティブアプリケーション」	単位数	3
教科書（出版社）	なし				
副教材（出版社）	なし				
授業の概要	・ Excel の VBA や Access、写真加工や動画編集などの各種ソフトウェアの活用を学習しながら、生徒がアイデアを出し合い作品の制作を行う。				
授業の目標	・ 商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。				
年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標		
	1 学期	1 ガイダンス	・ 年間計画について確認をする。		
		2 Excel の VBA について	・ Excel の VBA に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。		
		3 Excel の VBA を活用した作品制作・発表	・ Excel の VBA を利用した作品制作をする。		
4 Access の基本操作		・ Access に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。			
5 Access を活用した作品制作・発表		・ Access を利用した作品制作をする。			
2 学期	6 デザインの基本	・ デザインの基本について学ぶ。			
	7 写真編集	・ 写真編集に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。			
	8 動画編集	・ 動画編集に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。			
	9 作品製作	・ 写真編集や動画編集で学習したことを活用しながらオリジナルの作品を制作する。			
3 学期	10 課題研究発表会に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担をし、1年間の活動の集大成としてプレゼン作品を制作し、発表会の準備をする。</li> <li>・ 分かりやすいプレゼン作品を作る。</li> </ul>			
学習の評価					
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価 規準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習演習</li> <li>・ 課題研究日誌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品</li> <li>・ 作品レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表</li> <li>・ 課題研究日誌</li> </ul>		



教科	商業	科目	課題研究（ビジネスコミュニケーションスキル）	単位数	3
教科書（出版社）					
副教材（出版社）	秘書検定クイックマスター3級2024年度版（早稲田教育出版）				
授業の概要	秘書としての基本的な資質や知識について、問題演習を中心に学び、ビジネスに関する課題を発見し、協働作業や検定受験を通して、職業人として必要な資質・能力の向上を目指す。				
授業の目標	<p>(1) ビジネスに関する知識や技能と望ましい心構えを身につけ、ビジネスマナーの意義や役割を理解している。</p> <p>(2) ビジネスに関する諸問題を的確に把握し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。</p> <p>(3) ビジネスを行う上での諸活動に広く関心を持ち、その知識と技術の修得を目指して意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身に付けている。</p>				

年間学習計画	学期	学習内容（単元・項目）	学習目標
	1学期	I 必要となる資質 1 予定表の作成 2 秘書の心構え 3 秘書に必要な条件 4 職務知識 5 秘書の役割と機能・職務 6 一般知識 II マナー・接遇 1 人間関係と話し方・聞き方 2 電話応対・接遇 3 交際	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生と職業人との違いを理解している。</li> <li>ビジネスを営む上で求められる望ましい人柄・行動について知識と技術を活用して、適切に判断しそれを表現する能力を身に付けている。</li> <li>秘書の役割と機能を理解している。</li> <li>秘書の仕事を理解し、適切に実践することができる。</li> <li>経営学、経営管理について理解している。</li> <li>社会常識や時事問題について理解している。</li> <li>話し方や聞き方と人間関係の結びつきや真意を理解している。</li> <li>平易な敬語や接遇用語の使い方を知識と技術を活用して、適切に判断しそれを表現する能力を身に付けている。</li> <li>電話の受け方、取り次ぎ方の基本について理解し、適切に実践することができる。</li> <li>慶弔、贈答など一般的なマナーを理解している。</li> </ul>
	2学期	III 秘書検定 1 技能 2 ビジネス文書と秘書 4 文書管理 5 資料管理 6 日程管理・オフィス管理 7 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議に関する秘書の仕事について理解している。</li> <li>ビジネス文書作成上の基本を理解している。</li> <li>文書の保管、取り扱いについて理解している。</li> <li>上司の日程管理とオフィスの環境を整えることを理解している。</li> <li>目標を立て実行できている。</li> <li>自ら学び、問題解決することができる。</li> </ul>
	3学期	IV 研究発表準備 1 研究発表の下準備 2 研究発表の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を把握し、任されたことに責任を持ちやり遂げている。</li> <li>これまで学習した知識や技能と望ましい心構えを身に付けている。</li> <li>協働し、まとめていくことができる。</li> </ul>

学習の評価

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 規準	秘書の諸活動に広く関心を持ち、ビジネスに関する知識や技能と望ましい心構えを身につけ、ビジネスマナーの意義や役割を理解している。	秘書の諸活動に関する諸問題を的確に把握し、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	ビジネスを行う上での諸活動に広く関心を持ち、その知識と技術の修得を目指して意欲的に取り組むとともに、望ましい心構えや態度を身に付けている。
評価 方法	・ワークシート	・レポート	・レポート ・発表

